

三郷の子供たちを放射性物質から守ろう

福島『原発災害』から2か月以上が経ちますが、収束に向かう気配は全く感じられません。

私たちの街三郷にも放射性物質が飛来している事が分かっています。

しかし市は対応と呼べる行動を一切行っておらず特に影響を受けやすいと言われている

子供たちに対しても何の対策も行われていないのが現状です。

● 放射線量が高いという根拠はなんですか？

- ① 東大の柏キャンパスで測定・公開されているデータによると4月に $0.5\mu\text{sv}$ の値が計測されています。これはある程度公のデータと言えます。
- ② 先日公開されたWSPEEDIの一部公開によって分かった3月25日時点のおおまかな値によると三郷市付近のセシウム137の地表蓄積量は $77,000 \sim 125,000\text{Bq}/\text{m}^2 = 2.1 \sim 3.4\text{Ci}/\text{k m}^2$ 程度と推測されています。
- ③ 個人で購入した簡易測定器で市内を計測しますと平均 $0.3 \sim 0.4\mu\text{sv}$ の値が出ます。

● この数値を他と比較すると？

現在観測されている値を参考にしますと北茨城市付近と同等のレベルになります。

チェルノブイリでは第2～3汚染区分と呼ばれているエリア内に該当してしまいます。

● どうなってしまうのか？

私たちは放射線の専門家ではなく今回の事故は人類が未経験と言う規模の物ですので、影響の予測は困難です。今後の予測には様々な意見がありますが、この事故の規模になっってしまったのはチェルノブイリの事故を参考に考えるのが妥当だと思います。

上記第2～3汚染区分とは10年から20年の間にその地域で呼吸しその地域の食品を食べていた人々（成人含む）の中でガンや白血病が増加～急増したエリアであると言う結果になります。

● 私たちが市に求める対策

- ・ 正確な汚染状況の測定と結果の公開
- ・ 子供の活動の場の線量測定と対策
- ・ 学校給食の食材の産地公開と汚染地域外の食材使用の徹底
- ・ 授乳期間の幼児の影響調査と母親に対するサポート



運営者について

私たちは高濃度放射線の現状と行政の対応に危機感を抱いている三郷市民の集まりです。

まだ団体名もありません。

是非ご一緒にこの問題を考えていただけませんか？

運営サイト（携帯で読み込めます）

【三郷の子供たちを放射性物質から守ろう】

<http://bit.ly/elZapf>